



読書の窓 4月に読みたい本



地球環境にやさしい本

4月22日は“アースデイ”です。環境汚染から地球を守るために市民運動統一行動の日として1970年にアメリカで制定されました。今月の読書の窓では、その“アースデイ”にちなんで、地球環境にやさしい本をご紹介いたします。環境汚染から美しい地球を守る、そんな手助けをする本を是非手にとって読んでみてください。

『Google Earth でみる地球の歴史』



後藤和久／著
岩波書店

知らない場所へ行くときにその場所を検索したり、世界中をインターネットの中で旅したり、Google Earth は色々な使用方法があるかと思います。この本では、Google Earth を用い、今まで知らなかった地球の歴史や自然、災害などを見ることができます。是非、実際に Google Earth を使用しながら読んでみてください。

『子どもにできる地球にやさしい24時間』



林佳恵・根本悦子・天笠啓祐・他／著
学陽書房

タイトルの通り、子どもが環境について学べる1冊です。1日24時間のサイクルの中で人間が環境に及ぼす影響について、小学生の視点でも分かりやすく説明されています。水の大切さや、ごみのゆくえ、牛乳パックでのエコ工作の紹介など地球にやさしく生活するための知恵が満載です。エコロジー度チェックなどもあり、楽しみながら学べます。

『環境にやさしいお買い物』



山川文子／著
日刊工業新聞社

今朝食べた食パンが食卓に運ばれるまでには、小麦の輸入、工場での加工、店への輸送、捨てたビニール袋ゴミの処理など、様々なコスト（お金はもちろんエネルギーも）がかかっています。じゃあコストカットにつながる買い方は？本書は買い物の楽しさはそのままに、環境やおサイフにまでやさしい買い方を教えてくれます。買い物で世界が変わる？！

『森林カメラ』



香坂玲／著
アサヒビール株式会社

日本には美しい森林が多くあります。もちろん、海外にも多くの森林があります。日本と海外の森林を紹介しながら、自然を守っていくために、今私たちが出来ることは何かを教えてくれる1冊です。マンガで見る環境問題なども取り上げており、読みやすくなっています。様々な視点から環境問題について知ることができる本です。

『ちきゅう』



G. ブライアン・カラス／著
偕成社

毎日朝が来て、夜が来るのはどうして？季節があるのはどうして？そんな疑問を持っている子どもたちや、その質問にうまく答えられない大人の皆さんにオススメの1冊です！身近な事象の絵と宇宙の絵が組み合わさり、私たちはみんな地球に乗って宇宙を旅しているということがよく分かります。みんなの宇宙船、大切にしていかなければなりませんね。

『やさしい環境教室』



朝日新聞科学医療グループ／編
勁草書房

環境問題はきちんと考えなければならないことだけど、専門書は難しそう…。それでは、まず日本で実際に起きたことを見つめ直してみませんか？本書は朝日新聞の環境連載「えこ事記」を書籍化したもので、出版前に起こった東日本大震災にも言及しています。過去の苦い経験は、環境問題の未来を考えるヒントを私たちに与えてくれます。

一般特集 ◆ 4月



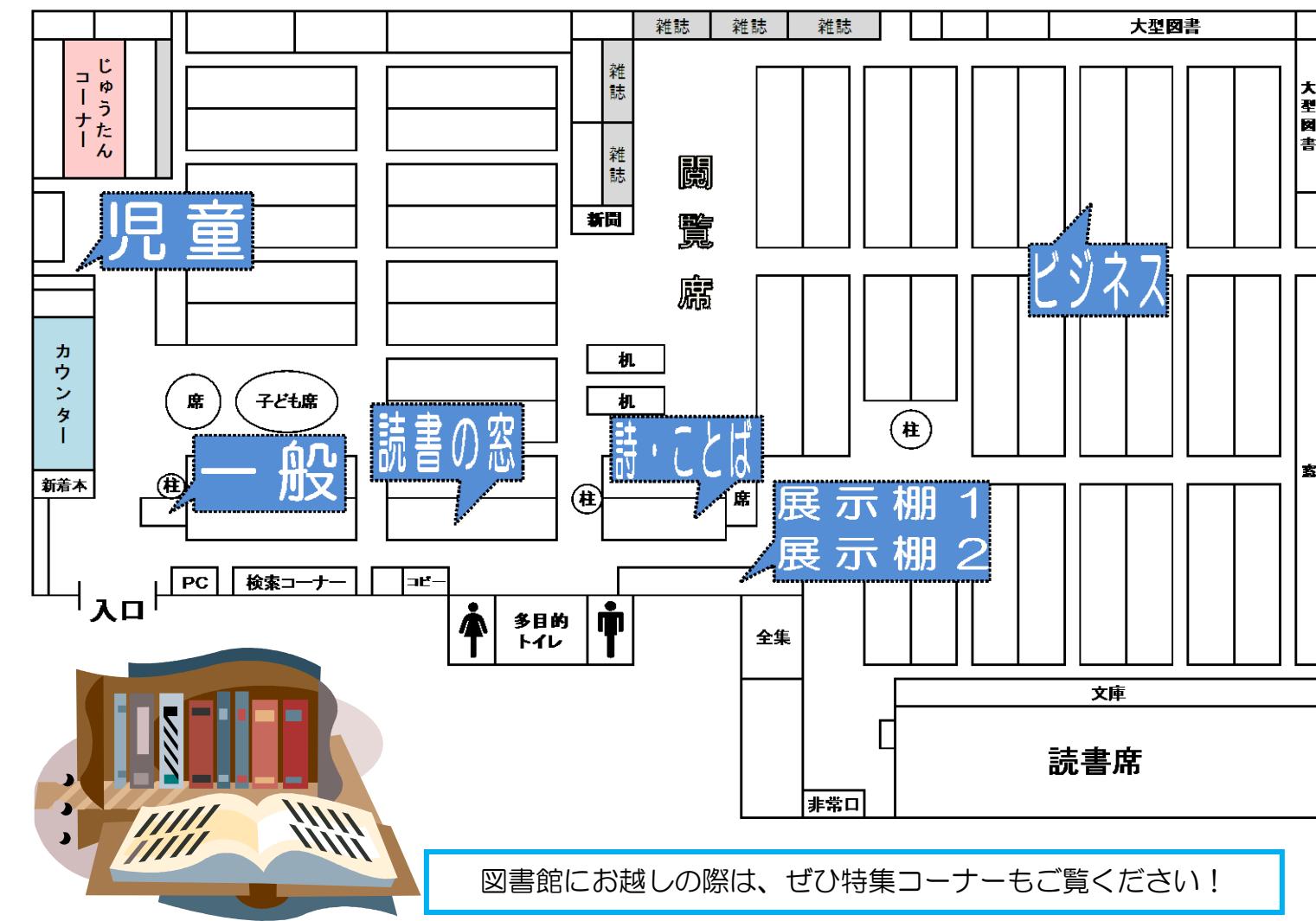
新生活応援本

る人も、そうでない人も、気分一新！今までやったことのない事にチャレンジしてみたり、今までの暮らしを見直したりしてみませんか？

皆さまの元気な新生活を応援する本を集めています。ぜひご活用ください。

「特集コーナー」のご案内

やよい図書館では様々な特集コーナーを設置しています。オススメのテーマごとに本を集めて皆さんにご紹介しています。テーマは月毎や季節毎に変わります。春、新生活がスタートす



図書館にお越しの際は、ぜひ特集コーナーもご覧ください！